

2026年7月23日

株式会社micro development

報道関係者各位

小説の世界に泊まる『空想旅文庫』本格始動  
芥川賞受賞作家 鳥山まこと氏の書き下ろし小説の世界に泊まる  
おもてなし部門1位の老舗旅館 稲取銀水荘で10月よりサービス開始

「日本中のローカルを、自分らしく生かされる舞台にする」というビジョンのもと、伊豆と渋谷を拠点にプロジェクトコーディネートを手がける株式会社micro development（静岡県賀茂郡東伊豆町、代表取締役社長：守屋真一、以下mdi）は、自社が企画・運営する宿泊体験サービス『空想旅文庫』の取り組みとして、地域に根ざしたおもてなしを守り続けてきた稲取銀水荘（静岡県賀茂郡東伊豆町、代表取締役社長：加藤 晃太）と連携し、芥川賞受賞作家・鳥山まこと氏による当該宿泊施設を舞台とする書き下ろし小説の世界に泊まる新サービスを、2026年10月より提供開始いたします。

まちや宿に眠る記憶を丁寧にすくいあげながら物語と宿泊体験をつなぐ『空想旅文庫』の中でも、本取り組みは、作家自身のリアルな滞在体験を起点に、一つの旅館のためだけの物語を書き下ろす、シリーズの中でも特別な取り組みです。全国各地にある、その場所ならではの記憶や魅力を、多くの人々に届ける手段のひとつとして、『空想旅文庫』のサービスを展開していきます。



『空想旅文庫』オフィシャルwebサイト:<https://kuusoutabibunko.jp>

## ■「空想旅文庫」について

mdiは、伊豆・稲取を拠点に、地域の事業立ち上げに伴走するプロジェクトコーディネートカンパニーです。私たちは、地域文化を一方的に消費するのではなく、まちや宿に眠る記憶を丁寧にすくいあげ、物語というかたちで可視化することを大切にしてきました。『空想旅文庫』は、その取り組みのひとつで、一冊の小説からはじまる旅を提案する宿泊体験サービスです。mdiが企画・運営する、宿や地域に眠る記憶・物語をもとに小説を制作し、宿泊体験と接続することで、「読む」という体験を「泊まる」という体験へと拡張していきます。昨年の秋に、まずは、ADDRESS、OURRoomとともにその実現性を検証しました。(詳しくはコチラ→<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000024.000120735.html>)

(Philosophy)

### 空想旅文庫のこだわり

空想旅文庫は、情報を追いかけるのではなく、  
想像を膨らませる旅を提案しています。

ただ訪れるだけでは見過ごしてしまいがちな、  
まちの表情やそこに生きる人々。  
そんな景色に出会える旅は、楽しいものです。

空想旅文庫がお届けする「小説」と「滞在」を通して、  
その地に息づく個性を、ぜひ感じてみてください。



**Point 01.**  
小説から、風土が響く。  
地域文化や宿の個性をもとに執筆されたオリジナル小説が揃います。

**Point 02.**  
古民家から、ホテルまで。  
宿の形はさまざま。過ごしたい気分や物語に合わせてお選びください。

**Point 03.**  
こたえ合わせは、旅先で。  
舞台のまちに訪れたら、物語と現実が変わる時間が待っています。

このたび稲取銀水荘にて、文学界で権威ある芥川賞を受賞された作家の鳥山まこと氏とともに『空想旅文庫』のサービスを本格始動いたします。芥川賞受賞作家である鳥山まこと氏を迎え、鳥山氏自身が稲取銀水荘に滞在し、この土地と旅館の時間を見て、聞いて、感じた実体験をもとに、稲取銀水荘を舞台とするオリジナル短編小説を書き下ろします。物語の起点を作家自身の体験に置くことで、稲取という土地でしか描けない情景を、芥川賞受賞作家のフィルターを通して、稲取銀水荘という実在の場所と結びつけて届けられると考えています。コロナ禍を経て、人との関わりや、時間の過ごし方、旅への期待、旅の楽しみ方について、私たちの考え方や価値観には変化が訪れました。全国各地のそこにしかない価値への気づきを、『空想旅文庫』という手に取れる形で具現化し、訪れるお客様に、これまでにない宿泊体験として提供するとともに、そこから、それぞれの新しい物語がはじまっていくことを願っています。

『空想旅文庫』オフィシャルwebサイト:<https://kuusoutabibunko.jp>

## ■ 代表コメント | 株式会社micro development 代表取締役社長 守屋 真一

「物語は、場所の価値をひらく力を持っています。稲取銀水荘さまが大切にしてきた『おもてなし』の心に触れ、その思いを丁寧に物語へと編んでいくこと——それが私たちの役割だと考えています。空想旅文庫は、まちや宿に眠る記憶を、消費される素材としてではなく、その土地自身の言葉として残していくプロジェクトです。芥川賞作家である鳥山氏と稲取銀水荘という組み合わせは、私たちにとっても大きな挑戦であり、この物語からお客様一人ひとりの旅の物語が始まっていくことを願っています」

## ■「銀水荘×空想旅文庫」体験の流れ

鳥山まこと氏が稲取銀水荘に滞在し、この土地と旅館の時間を自らの目で見、耳で聞き、肌で感じながら過ごし、そこで得た実体験をもとに、稲取銀水荘を舞台にしたオリジナル短編小説を書き下ろします。その物語を文庫として制作し、宿泊者に提供します。お客様は、宿を訪れる前に、これから宿泊する宿を起点とする物語の世界にふれ、その後、実際に稲取を訪れ、小説を通じて鳥山氏が見た景色や感じた空気を体験し、小説の世界と現実の宿泊をシームレスにお楽しみいただけます。

宿泊のお客様は、物語の舞台となった稲取銀水荘に実際に滞在し、物語に描かれた景色や感じた空気と、そこに滞在する自分自身の時を重ねて体感していきます。小説はアメニティとして持ち帰ることができ、旅を終えたあとも読み返し、物語の世界を再び訪れ、ご自身の体験とともにふり返ることができます。

- 実在するまちや宿を題材にしたオリジナル小説を執筆
- 物語の舞台に実際に泊る
- 小説(文庫)をゲストへアメニティとして提供
- 旅の体験価値を向上
- 再訪誘致とファン育成

※内容は変更となることがあります。

(How to stay)

## 楽しみ方



Step 01.

### 選書、予約する

このサイトで気になる小説を見つけ、宿をご予約ください。



Step 02.

### 届いた小説を読む

小説があなたの家に届きます。まずはじっくり本を読んで、旅先への想像を膨らませて。



Step 03.

### 物語の舞台へ

本を片手に、現地へ出発。事前の情報収集はほんの少しで大丈夫。ありのままのまちに出会いに行こう。



Step 04.

### まちを巡って、答え合わせ。

「あ、ここだ」の瞬間。小説で描かれたシーンと目の前の景色を重ねながらまちを楽しもう。

旅から帰って、ひと息ついたら、もう一度、読んでみる。

そんな楽しみ方もおすすめです。

※小説の内容、宿泊プランおよび価格等の詳細は、体験開始に合わせて発表予定のプレスリリース(2026年10月頃)にてお知らせいたします。

## ■ 稲取銀水荘について

稲取銀水荘は、平成8年度から15年連続で「プロが選ぶホテル・旅館100選」おもてなし部門第1位を受賞するなど、長きにわたり「おもてなし」を大切にしてきた老舗旅館です(静岡県賀茂郡東伊豆町、代表取締役社長:加藤 晃太)。

★ 2025年9月には『空想旅文庫』導入施設の一つとして先行してご案内しており、今回は芥川賞受賞作家・鳥山まこと氏を迎えた具体的なプロジェクトの本格始動発表発表となります。



＜稲取銀水荘 代表取締役社長 加藤 晃太 コメント＞

「滞在するだけでなく、“物語を体験する”という新しい旅のスタイルが加わることで、旅としての魅力や記憶に残る体験価値が一層高まると感じています。今回、鳥山まこと氏とご一緒させていただく中で、私たちが大切にしてきたものを、物語という新しいかたちでもお客様にお届けできるのではないかと感じています」

＜稲取銀水荘 概要＞

名称:稲取銀水荘

所在地:静岡県賀茂郡東伊豆町〔詳細:確認中〕

実績:「プロが選ぶホテル・旅館100選」おもてなし部門

15年連続第1位(平成8年度～21年度)

URL: <https://www.inatori-ginsuiso.jp/>

Instagram: [@inatoriginsuisosta\\_jzu](https://www.instagram.com/inatoriginsuisosta_jzu)

X: [@inatoriginsuiso](https://twitter.com/inatoriginsuiso)



## ■ 鳥山まこと氏プロフィール

一級建築士として活動する傍ら創作を続け、2023年に三田文学新人賞を受賞。2025年『時の家』で野間文芸新人賞、2026年に第174回芥川賞を受賞。同一作品でのダブル受賞は史上初。



＜鳥山まこと氏 コメント＞

あらゆる場所には誰かの物語が潜んでいます。その町に暮らす人、昨日たまたま訪れた人、百年前に住んでいた人。稲取銀水荘にも数えきれないほどの物語が潜み、それらは建物に宿る気配や働き手の方々の振る舞い、窓から映る風景に残っています。

そのうちのたった一つを小説という言葉で浮かび上がらせ、これから訪れる誰かに手渡すことができればと。

旅は私の物語でありながら、誰かの物語を辿るものでもある。町や建物から得られる重奏的な体験の、ほんの手助けになればと思います。

(撮影/渡辺充俊)

## ■『空想旅文庫』への関係各社コメント

＜ADDRESS(株式会社アドレス) 拠点開発事業部長 後藤 伸啓 氏＞



空想旅文庫に初めて触れたとき、「こんな旅のかたちがあったのか」と胸が熱くなりました。家や地域に宿る物語を丁寧にすくい取り、滞在中に過ごす時間に新たな彩りを与えてくれるこの取り組みは、まさに“暮らすように旅する”ADDRESSの思想にも重なります。もっと多くの人に、この新しい旅の感動が届いてほしいです。心から応援しています。



＜OURRoom(わづくる株式会社) 代表取締役 平間 一輝 氏＞

地域、建物、そこに暮らす人々-それぞれに“唯一無二の暮らしの物語”があります。私たちは、その物語の魅力を滞在体験を通じて届けていくことが、自らの果たすべき価値だと考えています。このたびの取り組みを通じて、地域に根ざした新たな価値を共に創造できることを、大変うれしく思います。私たちと一緒に、この土地ならではの物語を、多くの人々へ届けていきましょう」

## ■ 株式会社micro developmentについて



「日本中のローカルを、自分らしく生きられる舞台にする」というビジョンのもと、伊豆と渋谷を拠点に地域の事業立ち上げを伴走支援するプロジェクトコーディネートカンパニーです。地域プロジェクトの企画・運営、宿泊施設プロデュース、空き家利活用事業などを多数展開。地域文化を一方的に消費するのではなく、まちや宿に眠る記憶を丁寧にするいあげ、物語というかたちで可視化することを大切にしたい

自社サービス『空想旅文庫』を展開。2026年7月より本格リリースします。



会社名:株式会社**micro development**

設立:2022年11月

代表者:代表取締役社長 守屋 真一

資本金:200万円

所在地:静岡県賀茂郡東伊豆町稲取2828-1

URL:<https://microdeve.com>

note:<https://note.com/microdeve>

以上